

閉会挨拶

【高橋 J I L A F 専務理事】 本日は、J I L A F の労働事情を聴く会に、大変お忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございました。

また、6人の講師の皆さんには、大変貴重な情報を提供していただき、心から感謝を申し上げます。今回は再招聘チームということで、各国の労働組合リーダーにご参加いただき、労働事情について報告していただきました。皆さんさすがにベテランのリーダーで、大変中身の濃いお話をお聴きできたと思っております。

特にまとめることはしませんが、1つだけ共通する点を挙げるとすれば、グローバル化あるいは新自由主義の進展に伴い、どうしても多国籍企業が力を持つてくるということです。力を持つてくると同時に、労働者の権利・権限や労働条件も向上していけばよいのですが、今の経済状況からすると必ずしもそういうふうになっていません。それに対抗するためには、やはり労働組合が力を持ち、結束することが重要と改めて感じたわけです。

J I L A F は労働組合ではありませんが、十分に各国の労働事情、労働組合の情報を収集する機能を有していると思っております。日本の労働組合と各国の労働組合とをつなぐパイプ役としての機能をこれからも続けていきたいと考えております。

9月には、私どももメールマガジンの発行を開始しましたので、より情報提供の内容を充実させていきたいと思っております。今後とも日本と各国の労働運動の連帯を心から祈念するとともに、皆様のご参加に感謝申し上げて、閉会の言葉とさせていただきます。本日はまことにありがとうございました。